

株主の皆様へ



ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。  
ここに当社第81期中間期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。  
株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
2024年12月

代表取締役社長 黒田浩史

当中間期の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢の緊迫化や長期化するウクライナでの紛争に加え、中国経済の減速などの影響により、先行き不透明な状況で推移しました。国内経済については、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな景気の回復が続きました。

こうした状況下、当社グループの受注高は、家電用モーターコア、工作機械等を中心として各事業とも前年同期比増加し9,506百万円（前年同期比530百万円、5.9%増）となりました。

一方、売上高については、期初受注残の低迷や、長納期品の受注が多かったことの影響を受け8,783百万円（前年同期比158

百万円、1.8%減）となりました。

利益面に関しては、売上高が減少したものの収益改善努力や品種構成差等が寄与し、連結営業利益は406百万円（前年同期比94百万円、30.2%増）となりました。経常利益は為替差損104百万円の影響等により308百万円（前年同期比145百万円、32.0%減）となり、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、209百万円（前年同期比75百万円、26.6%減）となりました。

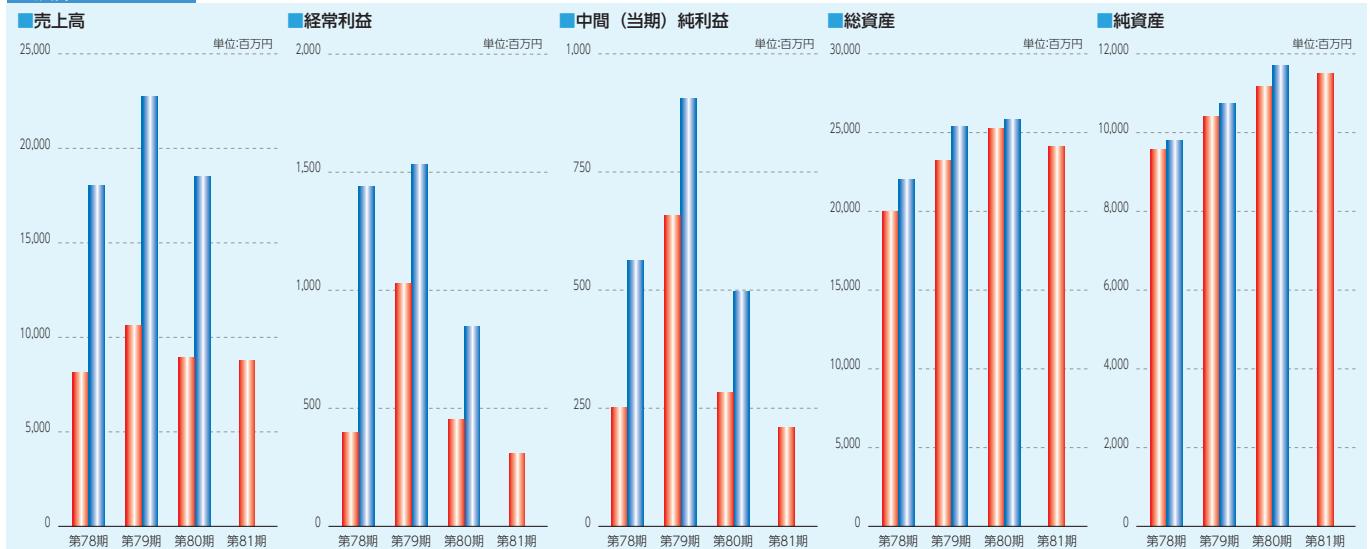
通期の見通し

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、駆動システム事業の主要顧客である半導体・液晶関連装置市場や、金型システム事業の主要顧客であるEVおよびHV、PHVを含む自動車市場の先行きが不透明であり、現在その影響を精査している段階であるため、2024年8月9日に公表した数値を変更しておりません（売上高20,000百万円、営業利益1,100百万円、経常利益1,050百万円、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円、期末配当1株当たり38円）。

今後の業績動向を見ながら、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

株主の皆様には何卒ご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。

決算ハイライト



## ■ 駆動システム

当セグメントでは、半導体・液晶関連装置市場の回復が当初予想より遅れており、受注高は前年同期より増加したものの3,125百万円（前年同期比138百万円、4.7%増）に留まりました。売上高については期初受注残高の減少の影響もあり3,212百万円（前年同期比165百万円、4.9%減）となりました。

収益面では、売上高は減少した一方、利益率の改善に努め営業利益39百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。これは、ドイツ子会社が工場移転を実施した際の一時的費用が前年同期の業績を押し下げた部分が今期は解消したこと、Jena Tecグループののれんの減損損失を昨年度計上したことよりのれんの償却がなくなったこと、およびグループ間の棚卸資産の連結調整等によるものです。

売上高 **3,212**百万円

## ■ 金型システム

当セグメントでは、EV市場減速の影響を受けたものの家電用モーターコア等が堅調に推移し、受注高は4,420百万円（前年同期比187百万円、4.4%増）となりました。売上高は、車載モーター用金型および家電用モーターコアの売上が増加した一方、EV用モーターコアの減少により4,000百万円（前年同期比8百万円、0.2%減）となりました。利益面においては、ロイヤリティ収入の増加や品種構成差等が寄与して利益率が改善し、営業利益は465百万円（前年同期比45百万円、10.8%増）の増益となりました。

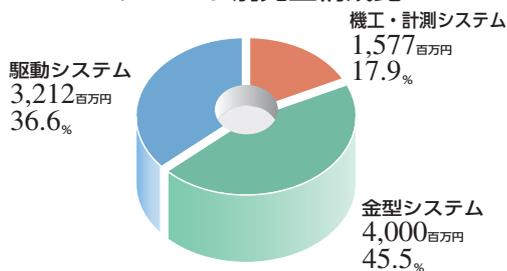
売上高 **4,000**百万円

## ■ 機工・計測システム

当セグメントでは、工作機械を中心に受注は増加し、受注高は1,966百万円（前年同期比210百万円、12.0%増）となりました。一方売上高については、上期売上に寄与するシステム商品の物件が少なかったことや要素機器商品の売上減少の影響もあり1,577百万円（前年同期比6百万円、0.4%減）となり、損益面では前期よりも赤字が縮小したものの79百万円（前年同期は営業損失86百万円）の営業損失となりました。

売上高 **1,577**百万円

### セグメント別売上構成比



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

## ■ 国内外子会社の再編

グループ経営の強化・効率化を狙いとして以下のような子会社の再編を行うこととしました。コンプレッサーの輸入販売事業を手掛けていた連結子会社クロダインターナショナル株式会社については、新規販売は既に終了しており現時点では過去に販売したロータリーコンプレッサーに関するサービス業務のみを継続しています。組織効率化のために、2024年10月1日をもって同社を吸収合併し、同社のサービス事業は黒田精工(株)が引継ぎ2027年3月31日まで対応して行くこととしました。

また当社が2012年に買収したJena Tecグループについては、当社の100%子会社である英国のKURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (以下、「KJTH」) が持株会社としてドイツでボールねじ等の製造販売を行うJenaer Gewindetechnik GmbH (以下、「JGWT」) を傘下に置き、JGWTの子会社として米国でボールねじ等の販売を行うKURODA JENA TEC, INC. (以下、「KJTI」) が位置付けられるという重層構造になっていました。経営管理の効率化と強化を狙いとして、KJTHを清算し当社が直接JGWTおよびKJTIを子会社として経営する体制に再編します。

## ■ 創業100周年記念シンボルマーク

当社は2025年に創業100周年を迎えます。この関連行事に使用するシンボルマークを作成することとし、子会社を含めた当社グループ社員から幅広く募集しました。最優秀作品として、マレーシアのクロダプレジジョンインダストリーズ (M) の社員から提案があった下記デザインが選ばれました。当社グループに集った人々が手と手を取り合って協調性のある企業文化を作り上げ100年の歴史を刻んできたことを、また月桂冠は今後も発展し続ける当社グループを表現しています。今後このシンボルマークを、名刺・ホームページ・ポスター・広告・記念品・展示会等に幅広く使用し、当社の100周年を社会に向けて広くPRするとともに当社のブランディングをより一層高めていくために活用していきます。



創業100周年記念シンボルマーク

## ■ 工場参観日の実施

2024年8月、当社長野工場において工場参観日を開催いたしました。社員のご家族および来春入社予定の内定者とそのご家族を招待して職場を見学してもらうとともに、お子さんを対象にしたものづくり体験も企画し、当社への理解やものづくりへの関心を深めてもらいました。当社がスポンサーとなっている松本山雅フットボールクラブのマスコット「ガングズ君」も登場して大変な盛り上がりとなり、参観日の様子は地元メディアのテレビ・ラジオでも紹介されました。



工場参観日の様子

## ■ JIMTOF2024への出展

2024年11月に開催された第32回日本国際工作機械見本市 (JIMTOF2024) に出展いたしました。新たに上市した精密ロータリー研削盤「GSR-600」は平面研削盤の実績を活かした当社としての最新工作機械で、セラミックスプレート等の脆性材の平面加工や、難削材の鏡面加工をターゲットに開発したものです。当社独自設計の油圧駆動ロータリーテーブルによる高い減衰性があり、高剛性・高精度・高効率加工を実現しました。この他の展示品として、平面研削盤とハイドロリックツール (HT) の融合による加工自動化の実演、HTの多様な採用事例等を紹介し、「加工と計測のSmart化」をテーマにお客様に新しいソリューションを提案し大きな反響を呼びました。



精密ロータリー研削盤GSR-600

# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 末 2024年3月31日現在	当中間期末 2024年9月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流 動 資 産	<b>13,583</b>	<b>12,177</b>
固 定 資 産	<b>12,300</b>	<b>11,958</b>
有 形 固 定 資 産	8,393	8,395
無 形 固 定 資 産	170	170
投 資 そ の 他 の 資 産	3,736	3,392
資 産 合 計	<b>25,884</b>	<b>24,135</b>
<b>(負債の部)</b>		
流 動 負 債	<b>8,184</b>	<b>7,280</b>
固 定 負 債	<b>6,003</b>	<b>5,346</b>
負 債 合 計	<b>14,187</b>	<b>12,626</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株 主 資 本	<b>8,782</b>	<b>8,823</b>
資 本 金	1,930	1,941
資 本 剰 余 金	1,535	1,556
利 益 剰 余 金	5,324	5,334
自 己 株 式	△9	△9
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	<b>2,726</b>	<b>2,518</b>
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,285	937
土 地 再 評 価 差 額 金	814	814
為 替 換 算 調 整 勘 定	571	711
退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	55	55
非 支 配 株 主 持 分	<b>188</b>	<b>167</b>
純 資 産 合 計	<b>11,697</b>	<b>11,509</b>
負 債 ・ 純 資 産 合 計	<b>25,884</b>	<b>24,135</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前中間会計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日	当中間会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日
売 上 高	8,942	8,783
売 上 原 価	6,695	6,516
売 上 総 利 益	2,246	2,266
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,934	1,860
営 業 利 益	<b>311</b>	<b>406</b>
営 業 外 収 益	239	156
営 業 外 費 用	98	254
経 常 利 益	<b>453</b>	<b>308</b>
特 別 利 益	0	89
特 別 損 失	0	0
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	<b>453</b>	<b>397</b>
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	145	181
法 人 税 等 調 整 額	21	22
中 間 純 利 益	<b>286</b>	<b>193</b>
非 支 配 株 主 に 帰 属 する 中 間 純 利 益 又 は 非 支 配 株 主 に 帰 属 する 中 間 純 損 失 (△)	1	△15
親 会 社 株 主 に 帰 属 する 中 間 純 利 益	<b>284</b>	<b>209</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前中間会計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日	当中間会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日
営 業 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	△737	1,438
投 資 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	△744	△445
財 務 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	368	△988
現 金 及 び 現 金 同 等 物 に 係 る 換 算 差 額	△42	70
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 増 減 額	△1,154	74
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 首 残 高	3,960	3,233
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 中 間 期 末 残 高	2,805	3,308

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■会社の概要

商号 黒田精工株式会社  
 本店 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16  
 創業 1925年(大正14年)  
 資本金 19億41百万円  
 従業員数 435名

## ■連結対象会社の状況

### 連結子会社

クロダプレジジョンインダストリーズ(M) (マレーシア)  
 平湖黒田精工有限公司 (中国)  
 韓国黒田精工株式会社  
 KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国)  
 Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ)  
 KURODA JENA TEC, INC. (米国)  
 株式会社ゲージング

### 持分法適用関連会社

日本金型産業株式会社  
 紅忠黒田ラミネーション株式会社

## ■当社グループの主要な事業

### セグメント

### 主要製品

#### 駆動システム

精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア

#### 金型システム

積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア

#### 機工・計測システム

保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置

## ■株式の状況

発行可能株式総数 ..... 14,960,000株  
 発行済株式の総数 ..... 5,719,934株  
 株主数 ..... 3,130名

## ■所有者別株式分布状況

合計 5,719,934株



## ■大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社日本共創プラットフォーム	1,135	19.88
黒田 浩史	295	5.17
株式会社みずほ銀行	276	4.84
ファナック株式会社	196	3.45
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	196	3.44
株式会社日本政策投資銀行	171	3.00
ユーログループ ラミネーションズ エスピーエー	168	2.95
株式会社横浜銀行	149	2.62
三井住友信託銀行株式会社	123	2.16
黒田精工取引先持株会	119	2.09

※持株比率は自己株式(7,730株)を控除して計算しております。

## ■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 毎年3月31日

定時株主総会・期末配当

公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。

<https://www.kuroda-precision.co.jp/>

ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

## 株式に関する手続きについて

### ○証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
支払期間経過後の配当金に関するご照会	受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
株式事務に関する一般的なお問合せ	
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

### ○特別口座に登録された株式

特別口座に登録されている株式につきましては、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお願いいたします。

株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

[手続き書類のご請求方法]

・インターネットによるダウンロード <https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/>

## 黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16

TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524

<https://www.kuroda-precision.co.jp/>

